

春かれんに告げるミズバショウ 網走で見ごろ

北海道新聞 4/21日



湿地に咲き誇るミズバショウの群落 20日、網走市呼人



呼人の群生地で一面に咲き誇るミズバショウ

咲き誇るミズバショウ

市呼人 網走湖畔の群生地

市呼人の湿地帯で、春の訪れを告げるミズバショウの花が今年も咲き誇っている。網走は呼人をはじめ網走湖の女満別湖畔、湧沸湖の浦士別湖畔など、ミズバショウが群生する湿地が数多く、中でも呼人の国道39号とJR石北線の間にある一帯は、名勝地として知られている。今年は何年より降雪が少なく、気温も平年より高めの日が多かったため、例年より早めに咲き、日の当たり具合によつてはすでに時期を過ぎたところも。葉が変形した独特の白い仏炎苞(ぶつえんほう)が湿地一面に広がり、春ならではの光景が広がっている。例年だと開花を聞きつけた市民が見物に訪れたり、写真を撮ったりしているが、今年は新型コロナウイルスの影響からか、観賞に訪れる人も少なめ。感染予防のため、観賞には3密を避けるなどの気使いが必要だ。網走周辺の群生は最近、湖水の水質悪化や湿地の乾燥など環境の変化からいずれも花が小型化し、密度も昔なるなど心配されており、貴重な自然資源を守ろうと市民ボランティアが年に数回、呼人地区の群生地を手入れしている。

(伊藤)



キセキント



【網走】オホーツク各地で、例年より早くミズバショウが見ごろを迎えている。網走市呼人の国道39号沿いにある「呼人水芭蕉・ホタル保全(トラスト)林」では、ミズバショウの群落が春の日照しを浴びて咲き誇っている。ミズバショウはサトイモ科の多年草。黄色い花穂を包んでいる、仏炎苞と呼ばれる白い部分が美しい。市観光協会は、14日に会員制交流サイト(SNS)の投稿を見て、開花を知った。例年より10日ほど早い。通常は4月下旬から5月上旬までが盛りという。他には湧沸湖のオンネナイ川河畔も見どころです。北見市から来た50代男性は「きれいなミズバショウを見て、春の到来を実感した。新型コロナで落ち込みがちな気持ち明るくなった」と話していた。(岩崎勝、写真も)



網走湖の緑と水



キセキ 7/12/2017

会員募集

年会費1000円 年一回水芭蕉通信発送
郵便振替口座02730-3-20099
網走湖・水と緑の会